

あなたのクラスで
やってみませんか！

ユニセフの

開発のための教育



対立と取り組むためのさまざまな方法

目的 対立と取り組むためのさまざまな方法や、その効果を検討する。対立を解決するための方策を選ぶ上で、対立の性格を明確にすることの重要性を検討する。

所要時間のめやす 50分

人数 4人1グループで8グループ程度

用意するもの 子どもの人数分の「問題と取り組むシート」

すすめかた

4人で1つのグループをつくってもらい、2人をA国チーム、2人をB国チームとする。

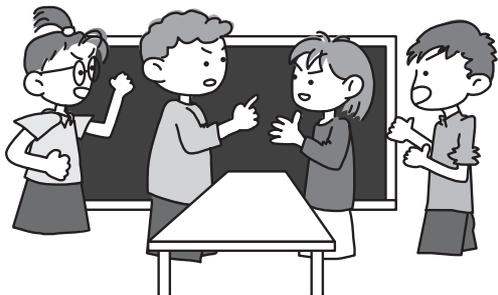
各グループに「問題と取り組むシート」を配り、グループ内で音読する。

グループ内でA国チームとB国チームが相手の国について攻撃しあう。

例えば...

A国チーム「わたしたちの国に文句を言いつづけるのなら、B国にゴミを持ち込まないようにしますが、お金も払いませんよ。それに、B国の人たちがわたしたちの国で働くのも禁止するかもしれませんよ」

B国チーム「あなたの国は豊かです。だからといって、それだけでわたしたちの国があなたたちの国の言いなりになるのはおかしい。自分たちのゴミは自分たちのところで処理したらいいではないですか」



一通りの攻撃が終わったところで、次の点について話し合う。

- ・A国チームの言い分に対して、Bチームはどう思ったか
- ・B国チームの言い分に対して、Aチームはどう思ったか
- ・2つの国の間で、次に何が起きるだろうか

話し合いが終わったら、再びお互いのチームについて今度は攻撃にならないように話し合う。特に「問題に関するそれぞれの国の立場」などについて考えながら話し合ってみる。

例えば...

A国チーム「わたしたちの国のゴミを捨てる場所が無くなることを心配しています。ゴミを捨てる場所がなくなると、わたしたちの国の産業に影響して、経済が悪化してしまうからです」

B国チーム「わたしたちはゴミが健康に悪影響を及ぼすのではないかと不安を感じ、怒りを覚えます。どのようなゴミが運ばれているのか、わたしたちは中身を知ることができないのですから...」



一通り話し合ったところで、次の3つについて話し合ってみる。

- ・今回のA国チームの言い分に対して、B国チームはどう思ったか
- ・今回のB国チームの言い分に対して、A国チームはどう思ったか
- ・2つの国の間で、次に何が起るだろうか。

クラス全体で次の点について話し合う。

- ・2つの話し合いでどのような違いがあったか
- ・どちらの話し合いの方が、平和的な解決をひきだしやすいだろうか？それはなぜだろうか？

問題と取り組むシート

A国は大きな国で、B国を始めさまざまな国からの移民労働者を受け入れていますが、そのA国は、自分の国から出た産業廃棄物を長年にわたって、B国の埋め立て地に船で運びB国にお金を払っていました。このお金がB国の大きな収入源となっています。しかし、最近は埋め立て地からゴミがあふれてきて、ゴミから出る有害な物質が地域住民の健康に被害を与えている、とB国は言い始めています。

